

## 令和2年度第2回学校運営部会 会議要旨

とき 令和2年8月27日(木)  
ところ 北方中学校 集会室

※会議の主な内容は以下のとおり

副部会長：定刻になったので、第2回学校運営部会を開始する旨を告げる。  
(15:30 開始)

部会長：各委員の検討内容等について順次資料説明と協議を行うこととする。

(※主な協議内容は以下のとおり)

○学園開校時の校務分掌について、北と南で規模の違いはあるが、校長と副校長が1人ずつ、3つの学年部ごとに教頭が1人ずつで3人、その他に主幹教諭、教務主任、生徒指導がおかれるようなイメージになると思います。

⇒学園になると主幹教諭の配置は増えますか。

⇒その時の状況によりますが、増えないと思います。

○北と南の教員交流はどうなりますか。

⇒それぞれの学園に授業に必要な教員配置はされますが、合唱など各種イベントなどで両校の交流を深めていく必要があると思います。

⇒今の学校教育会のように町全体としての教科別の研究会などは2校体制になっても続けていくこととなります。

○開校式について、開校していなければ入学できないので、令和5年4月には先に開校式を行ってから1年生の入学式を行うことになると思います。

⇒北学園は児童・生徒数が1,000人くらいなので、会場の問題もあります。何年生が出席するかなど、式典の規模なども今後検討しなくてはならないです。

○今の4校の開校式については、卒業式及び在校生の修了式が終わってから行うこととなります。

⇒特に開校式については4校の開催時期の調整が難しそうです。同一日開催にすると来賓などの問題もあるかもしれません。

○日課表については前回案をベースに再検討し、朝読書を8:10~8:20の10分間とし、掃除時間を15分間とするなど改良しました。チャイムについては、前期課程と後期課程の時間が重なるときのみ鳴らせばいいと思います。

⇒後期課程は時計を気にしながらの生活習慣をつけるためにノーチャイムでもよいのではないですか。

⇒前期課程については、中休みの終わりのチャイムがならないと子どもたちが教室に帰って

これないかも。ただし、この時間に鳴らすと後期課程では10分休みの途中の時間になってしまいます。

○システム上、前期課程と後期課程でチャイムを切り替えることはできませんか。

⇒特別教室やグラウンドなどの共用部分があるので、簡単にはできません。

⇒例えば前期課程と後期課程でチャイムの音を切り替えるとか、授業と給食や休み時間で音を切り替えるとかができるかよいと思います。

○8:10の読書の時間は朝早すぎませんか。遅刻が増えるかも。

⇒前期課程と後期課程の授業時間の差を調整する意味も含めて、後期課程は2時間目終了後に読書時間をずらしてはどうですか。

⇒朝読書で落ち着いてから授業に臨む意味があるので、2時間目終了後の読書には違和感があります。

⇒朝読書はあくまで自主的な活動の一環として位置付け、日課としては8:20の朝の会から始まることとしてはどうでしょうか。

○新しい日課表については、開校時に急に導入すると混乱すると思います。朝読書の時間などの扱いは各校の裁量によるとして、来年から試験的に導入していきたいです。

○授業時間や制服などは前期課程と後期課程で分かれるので、4-3-2制の学年区分の中学年部に関しては5・6年生と7年生で変わることになります。学年部ごとの行事を行う際はどうなりますか。

⇒中学年部は小学生から中学生に移行する時期として、指導面でもよりきめ細かな配慮が必要になると思います。行事の際には特別日課にするなど柔軟に対応ができると思います。

○各種行事に関して、修学旅行など特に宿泊を伴うものは開校前から予約が必要になるため、そのあたりの精査を先に進めていく必要があります。

⇒学校の再編に伴い、卒業アルバムの扱いも検討していく必要があります。9年生卒業時のみにするのか、6年生修了時に私立中学に進学する場合等にはどうなるのか、など細かい点まで考えると調整すべき点がいろいろあります。

副部長：2回目の協議は以上とし、各委員それぞれの研究を進めることとする。次回の部会は10月8日(木)午後3時半からとする。(17:00終了)